



ショベル技術委員会

THE BEST EXHIBITS



+ more
hall space!

Direct access
to northern site

+ more
outdoor space!

2007年4月23日～29日開催

Bauma会場; 54万m²

縦800m X 横700m



THE BEST EXHIBITS

位置付け ; 欧州三大建機展のひとつ。

三大建機展とは、

ドイツ **bauma at Munchen**

フランス **Intermat at Paris**

イタリア **Samoter at Verona**

これらを一年毎に順次開催。

(イタリアの年には、アメリカで**CONEXPO**も開催)

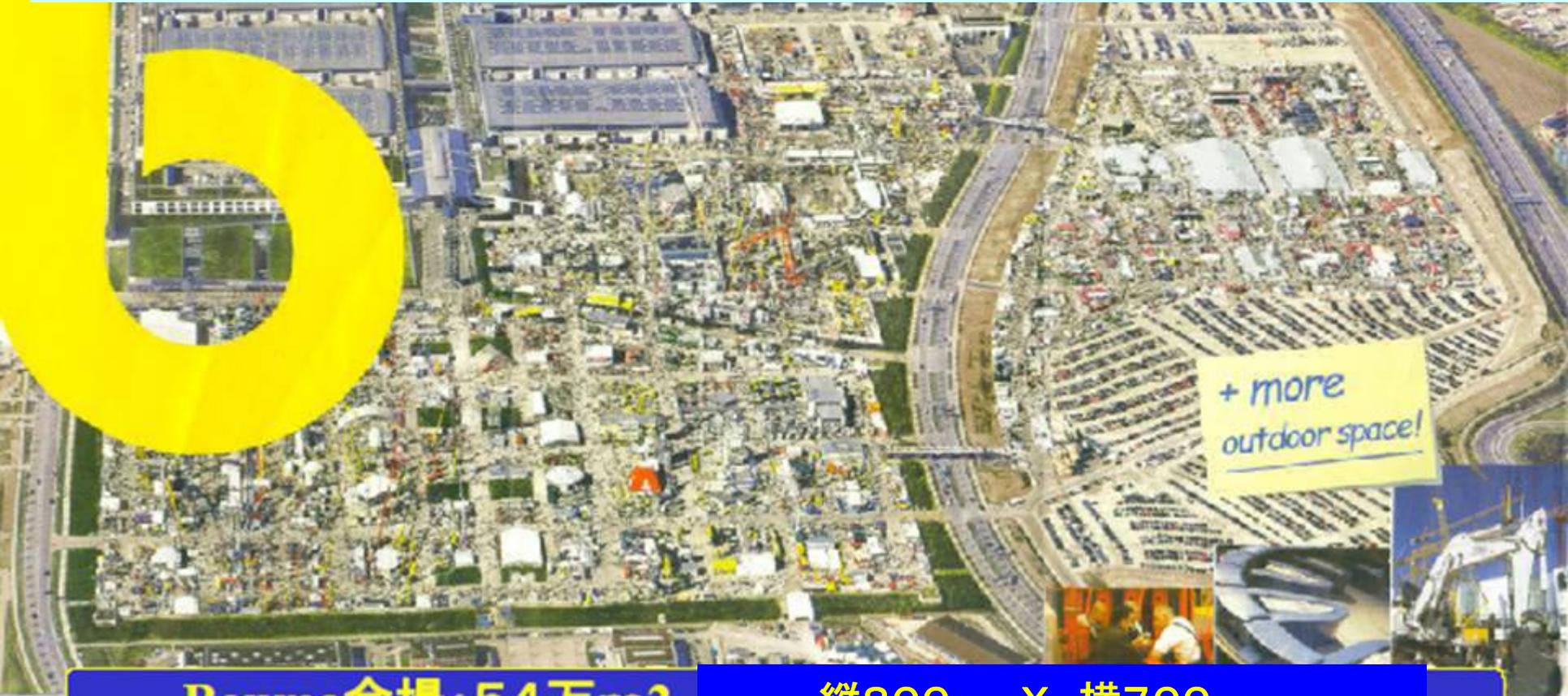


Bauma会場; 54万m²

縦800m X 横700m

THE BEST EXHIBITS

歴史 ; 1954年開始 3年毎にドイツのミュンヘンで開催
50周年を迎えた bauma 2004から、Miningを追加
今年**は**bauma+mining 2007として開催



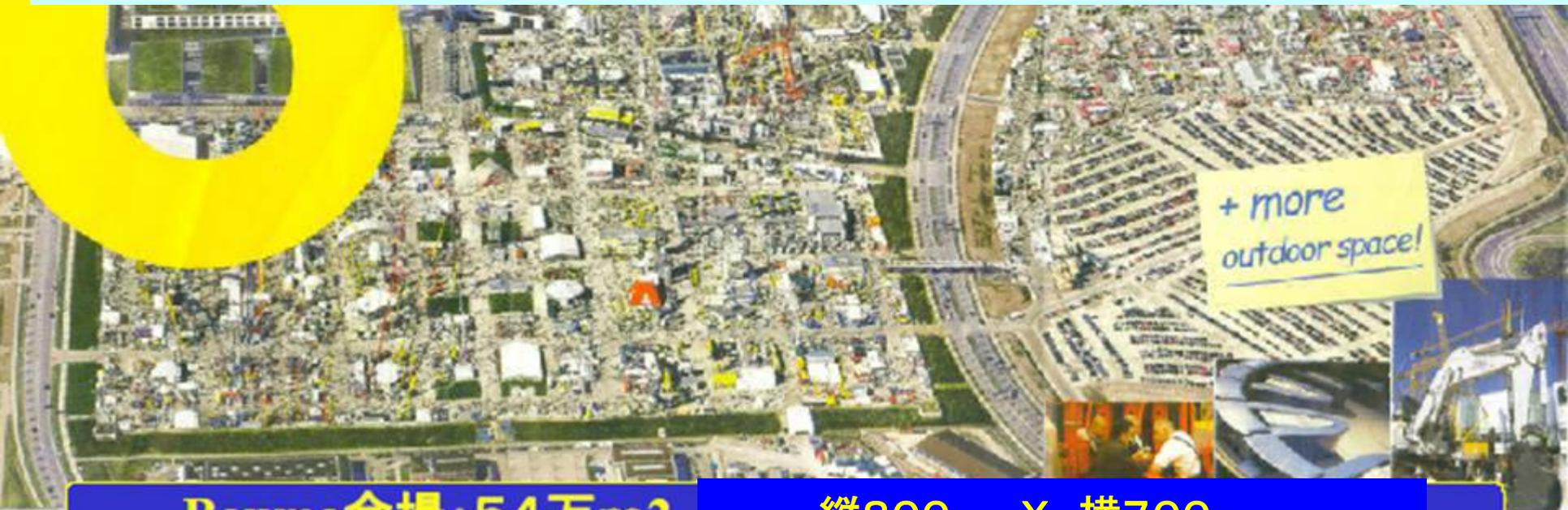
Bauma会場; 54万m²

縦800m X 横700m

THE BEST EXHIBITS

歴史 ; 1954年開始 3年毎にドイツのミュンヘンで開催
50周年を迎えた bauma 2004から、Miningを追加
今年**は**bauma+mining 2007として開催

規模 ; 2004 参加47カ国、2801社、会場は40万m²、42万人来場
2007 参加49カ国、3000社超、会場は54万m²



Bauma会場; 54万m²

縦800m X 横700m

THE BEST EXHIBITS

歴史 ; 1954年開始 3年毎にドイツのミュンヘンで開催
50周年を迎えた bauma 2004から、Miningを追加
今年はbauma+mining 2007として開催

規模 ; 2004 参加47カ国、2801社、会場は40万m²、42万人来場
2007 参加49カ国、3000社超、会場は54万m²

出展面積の伸びている国 ;
トルコ・・・前年比2倍
ロシア・・・前年比5倍
中国・・・前年比7倍

Bauma会場; 54万m²

縦800m X 横700m

THE BEST EXHIBITS

歴史 ; 1954年開始 3年毎にドイツのミュンヘンで開催
50周年を迎えた bauma 2004から、Miningを追加
今年**は**bauma+mining 2007として開催

規模 ; 2004 参加47カ国、2801社、会場は40万m²、42万人来場
2007 参加49カ国、3000社超、会場は54万m²

出展面積の伸びている国 ;

トルコ・・・前年比2倍

ロシア・・・前年比5倍

中国・・・前年比7倍

今年のキーワード ; 効率・安全性の向上、環境に配慮した最新技術、
オートメーション化

日本勢

コマツ

今年のテーマは'Call the experts 'ということで、皆様にコマツはエキスパートだと呼んでいただけるよう、建機総合メーカーとして幅広い分野を想定した機械展示としました。加えて、さまざまな種類の建機を展示する中でもデザインをはじめとしたブランドイメージの統一感が感じられるようにしました。全展示機種48機種のうち12機種は新商品(モデル)で、ブース展示のほかデモエリアを設け、実際に動いている建機を見ていただくスペースも設けました。

オートックスな展示ではありますが、展示に際しては、建設機械としての展示のほか、マテリアルハンダー、解体機械、都市土木・造園緑化、道路、リサイクル、林業、鉱山用といった各分野向けに、油圧ショベル(ミニ～大型、リタイ式/ホイール式)をはじめ、ブルドーザ、ホイールローダ、ダンプトラック、バックホーローダ、スキッドステアローダ、環境機械...といった様々な種類の機械をアタッチメント、仕様車も含め、集合展示いたしました。

ブース内では、細かいところになりますが、立体映像コーナや、ロボットといった新趣向も入れて、訪問いただいたすべての皆様に楽しんでいただけるよう配慮いたしました。

展示機種 48モデル (新商品 12)

Product	Model	No
油圧ショベル	PC138US-8, PC228USLC-3, PC210-8MH, PC210LCD-8 mono boom, PC210LC-8, PC240LC-8, PC290NLC-8, PC350LC-8, PC450LC-8, PC450LCD-7 high reach, PC1250-8	11 (3)
ホイールHE	PW140-7, PW160-7, PW180-7	3 (0)
ミニHE ミディHE	PC09-1, PC14R-2HS, PC18MR-2, PC20MR-2, PC27MR-2, PC30MR- 2, PC35MR-2, PC50MR-2, PC88MR-2, PW98MR-2	10 (2)
ホイールローダー	WA250PZ-5, WA380-6 WH, WA430-6, WA470-6, WA500-6 log grapple, WA600-6	6 (2)
ミニW/L	WA70-5, WA80-5, WA100M-5	3 (0)
ADT, RDT	HM300-2, HD785-7	2 (1)
ブルドーザー	D51EX-22, D51PX-22, D155AX-6	3 (3)
環境	BR380JG-2	1 (1)
SSL	SK510-5, SK714-5, SK818-5, CK25-1	4 (0)
BHL	WB93R-5, WB93S-5, WB97S-5	3 (0)
TH	WH613-1, WH716-1	2 (0)

コマツ屋内ブース全景

コマツブース



コマツデモブース風景



コマツ

館内および屋外のデモ会場。

デモは日本と異なり、高度でスリリングな内容であった。



屋内ブース写真(植物を配した演出)



CGシアター(立体映像)



ロボット



コベルコ建機(株)

今回は、NEW HOLLAND ブランドとして“BUILT AROUND YOU”をテーマにTier3に対応した新モデルを中心に幅広く展示を行いました。

中でも写真にあります20tクラスの新型SRモデルの SK225SR／SK235SRは、標準形ショベルSK200-8で確立した低燃費技術の投入は勿論の事、INDR(Integrated Noise & Dust Reduction)という画期的な新構造を採用し、これまでにない『極低騒音』および冷却機器の『清掃性』を両立しました。この他にも居住空間を拡大したキャビン、様々なメンテナンスを地上から行なえるよう改善した機器レイアウト等、正にコベルコの持てる技術を投入した機械となっております。また従来以上に標準形ショベルとの共通化を進め、多くの主要機器が標準形と共通化された事もサービスを担当される皆様にとって見逃せない点であります。

今回のTier3対応の新機種はお客様にとって『支出を削減し、収入をアップさせる』機械として、大きな満足を得られると確信しております。

KOBELCO SK235SR (NHK E235SRB)



極低騒音 INDR

KOBELCO SK235SR



極低騒音 INDR

KOBELCO SK200(NHK E215B)



多間接アタッチ装着仕様

住友建機製造(株)

①-1 CASE



①—2 CASE CX700



CASE CX800 デモ

日本では主催者が絶対に許可しないようなアトラクションが行われている。やはり自己責任の地域性である。



①—3 CASE CX700



①—4 CASE

CX330 高所破碎機



新キヤタピラー三菱(株)

展示テーマ

Your success Our commitment
(成功をもたらすこと それが私たちの使命)



キャタピラー社は、ドイツのディーラZEPPELIN(ツェッペリン)社と共催。屋内外に11,000平方メートルを超える展示エリアを確保し、60種類を越える製品やプロダクトサポート関連商品を出展した。



屋内では、①一般土木、②道路整備、③重土木、④鉱山砕石の4つの業種ごとに製品を配置。

プロサポコーナではリマン部品や、保証つき中古車の実物として1984年製の769Cなどを展示。

また、中央のステージでは縦長の大型スクリーンと、ダンサーによるパフォーマンスショーを行い、来場者の関心を集めていた。



屋外ではレンタル会社のMVS ZEPPELIN社が、CATレンタルの取り扱い製品を中心に紹介。

また、レンタルショップの横にはモトクロスバイクを使ったレースである「スーパークロス」のジャンプ台を設置。

ミニ建機のデモの後には、3人のライダーたちが驚くようなアクロバチックなジャンプを繰り広げ、来場者の歓声を受けていた。「ここまでやるか」とも思えるショーだが、注目度と見学者数は他社を圧倒し、キャタピラーブースは人だかりが絶えなかった。



会場内のモニターには「360° Solutions」を紹介する映像が盛んに放映されていた。これは、製品、金融サービス、プロサポ、保証のあらゆる面から、お客さまのお仕事を支えるソリューションを提供するというもの。

もちろんCATグッズショップも2カ所に設置され、商品を買求める人たちで、常にあふれかえっていた。



世界中から押し寄せる報道関係者に対応するために、専用のプレスセンターも設置。さらに、キャタピラーとツェッペリン社のお得意さまだけが利用できる飲食スペースを階上の見晴らしがよい場所に設置するなど、ユーザの満足度を向上させる設備も。



会場中央のステージには、高さ15メートルほどの縦長の巨大スクリーンと、ダンサーがパフォーマンスを行うための設備を設置。1日5回程度行われるショータイムでは、巨大スクリーンで開始360秒前からカウントダウンを開始。大音量のビートサウンドと照明の中で、巨大スクリーンに映し出される映像と合わせて、5人のダンサーがパフォーマンスを披露、観客の拍手喝采を浴びていた。一見、ただのパフォーマンスのようにも見えるが、巨大スクリーンに映し出されるCAT建機の稼働映像に合わせた動きを見せ、製品の力強さを強調していた。さらに、「360° Solutions」の映像に合わせて、観客に印象付けさせるといった演出。



明石事業所で生産され、日本で発売開始になったばかりのC6.4A CERTエンジンを搭載した320DLが、さっそく展示されていた。屋外も含めて多数油圧ショベルを展示していたが、その生産国は日本、フランス、ベルギーの各地。



相模事業所で生産された後方小旋回型ミニ油圧ショベル30
5CCRと303. 5CCR。
その他英国製も展示。



ミニ油圧ショベルの需要が高いヨーロッパでの展示とあって、来場者は興味深げに製品を観察していた。
また、ちびっ子連れの来場者が運転席に子供を座らせて喜ばせる様子も見受けられた。
ミニ建機のちびっ子人気は万国共通??



プロサポコーナーでは、リマン部品の実物カットモデルとして、エンジンや油圧シリンダ、ターボチャージャなどを展示。また、油圧ショベルのバケットに装着する様々な種類のツースの実物を展示し、その特長や装着方法を実演していた。



足回りのカットモデルや、プロダクトリンクシステムを説明するジオラマも展示していた。Certified Usedとして、保証つきの中古車として769Cダンプトラックと950G IIホイールローダの実物を展示。769Cは1984年に製造されたもので、稼働時間は16,216時間。本体フレームなどはそのままに、エンジンやパワートレインの一部を交換した様子を、車体上部からも確認することが可能。

(株)クボタ

クボタの製品展示は、限られたスペースですので、デモなど動きのある見せ方はできませんでしたが、ミニバックホーで標準機0.8tから8tまで9型式、後方超小旋回機1tから5tまで6型式の合計15型式を展示し、ミニ業界一の機種揃えの多さをアピールしました。更にホイールローダで3型式、キャリア2型式も展示しており、ミニ建機専門メーカーとしてお客様に強く認識して頂きました。

ミニバックホー各社展示の傾向として、

- ①後方超小旋回機の品揃えのPR
- ②省エネや排ガスといった環境に対する意識の高まりによる電気式・ハイブリッド式建機の展示
- ③様々なアタッチメントを装着し、汎用性の高いツールキャリアとしての展示等がうかがえました。

クボタでも、展示の目玉として

- ①アタッチメント用の外部油圧取り出しシステムの変更を行い、建機としての汎用性向上や
- ②昨年クボタで初めて市場投入した8t機に今年は新たにツーピースブームを採用し作業性向上のPRを行い、訪問するお客様は多く、連日かなりの賑わいでした。

クボタの展示ブース



クボタの展示ブース(2階からの様子)23機種を建物を中心に扇状に 展示 0.8tから8tまでのバックホー、ホイールローダ、キャリア



1.5tと3t標準機。共にmade in Germany



輸出専用機(8t ツーピースブーム仕様)



日立建機(株)



日立建機は、ドイツにおける代理店KIESELと共同出展

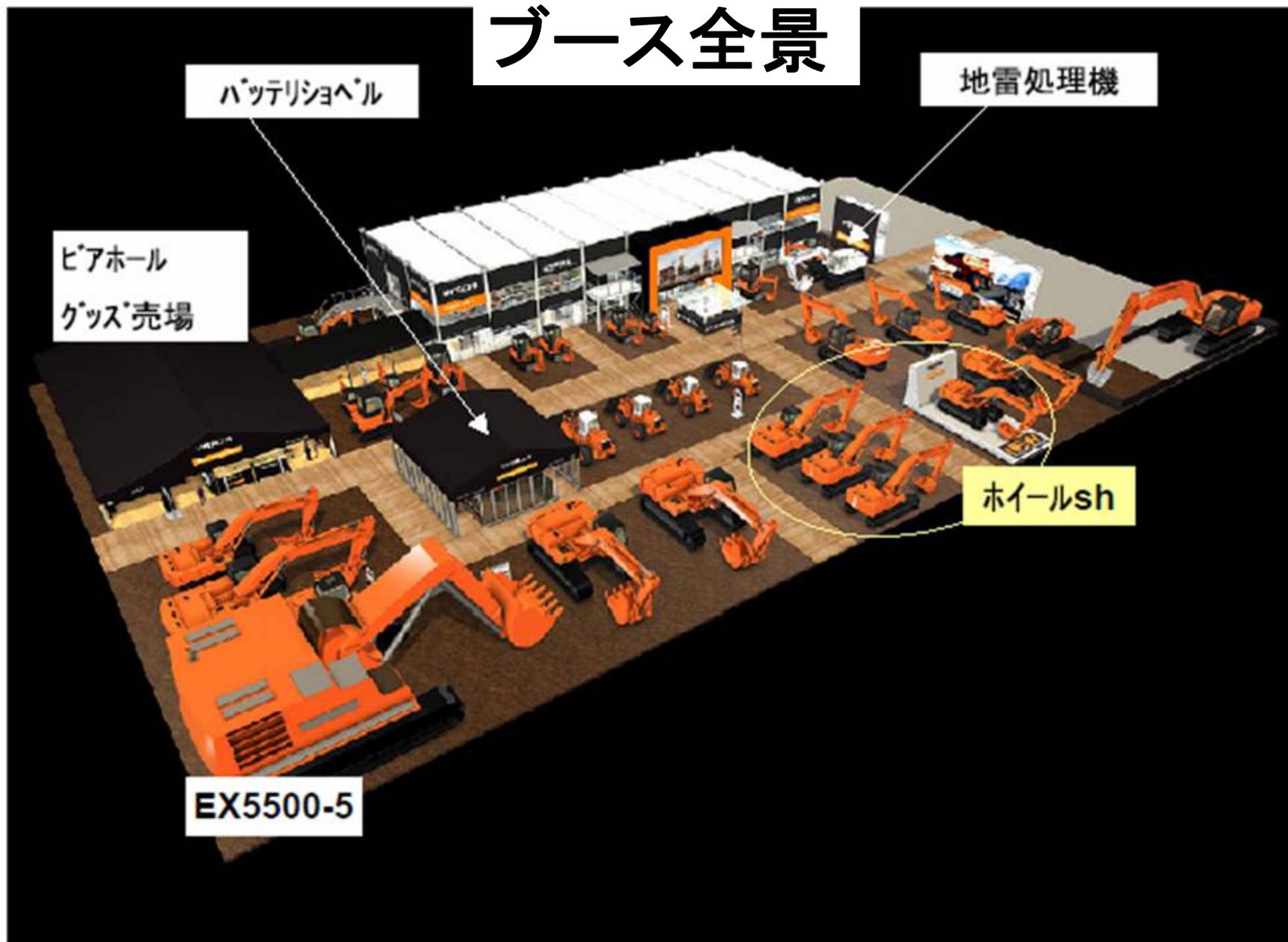
ミニショベルZX08 SRB(機体質量1.1トン、バケット容量0.022m³)から、超大型油圧ショベルEX5500(運転質量520トン、バケット容量29m³)に至るまでの、クローラタイプ及びホイールタイプの油圧ショベルを30台近く展示、またモデルチェンジ直後のホイールローダ5機種もラインアップに加えた。



また、コンセプトマシンとしてのバッテリーショベルや、世界的に有名になりつつある、「豊かな大地をよみがえらせる」地雷除去機も同時に展示、油圧ショベルの持つ可能性をアピールした。



ブース全景



HITACHI ブース



建屋内のBARも盛況



EX5500が大人気。
記念撮影スポット。



日立建機 EX5500

世界的な鉱業の活況に伴い、今回注目を集めた中の一台と言える。

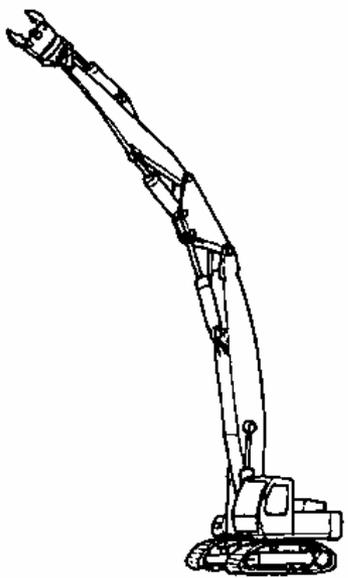


欧州では稼働比率の高いホイール式ショベルの新製品の展示 (排ガス3次対応機)





今話題の、「豊かな大地をよみがえらせる」地雷除去機



クイックヒッチ付きのハイリフトフロント

バッテリー式ショベル

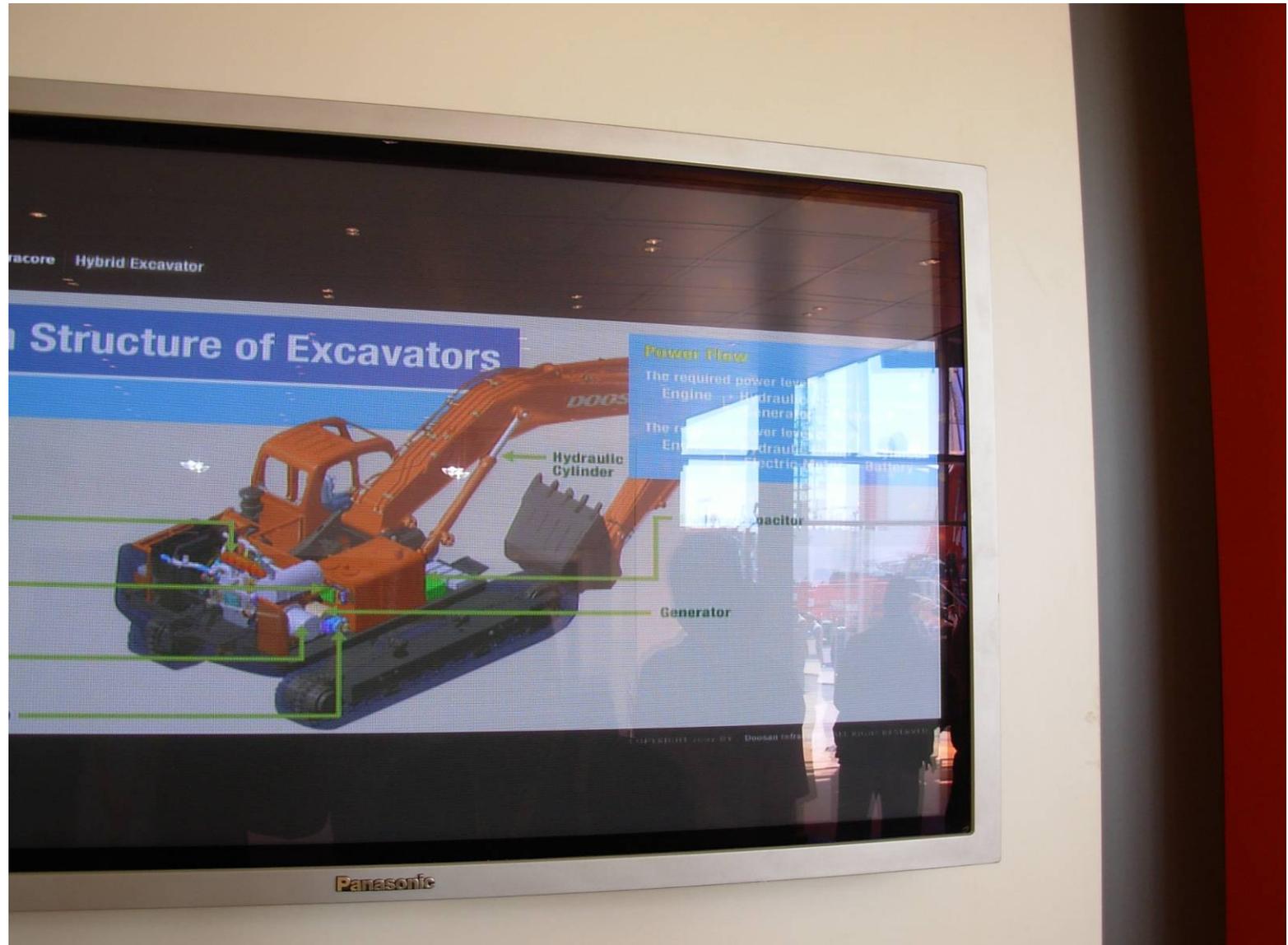


竹内 バッテリーショベル プロトタイプ

エンジン音がないため極めて静かな機械である。
逆に油圧音の大きさを再認識させられる。



DOOSAN ハイブリッド



今回意外に少なかったハイブリッド技術を紹介(ビデオのみ)

欧州勢

TELEX

O&K



TEREX社は超大型油圧ショベルのRH340-B(運転質量550トン、バケット容量34立方メートル)は、バウマンナンバーワンの巨大ショベル。運転席上部までの高さは8.8メートル。

②-7 TEREX



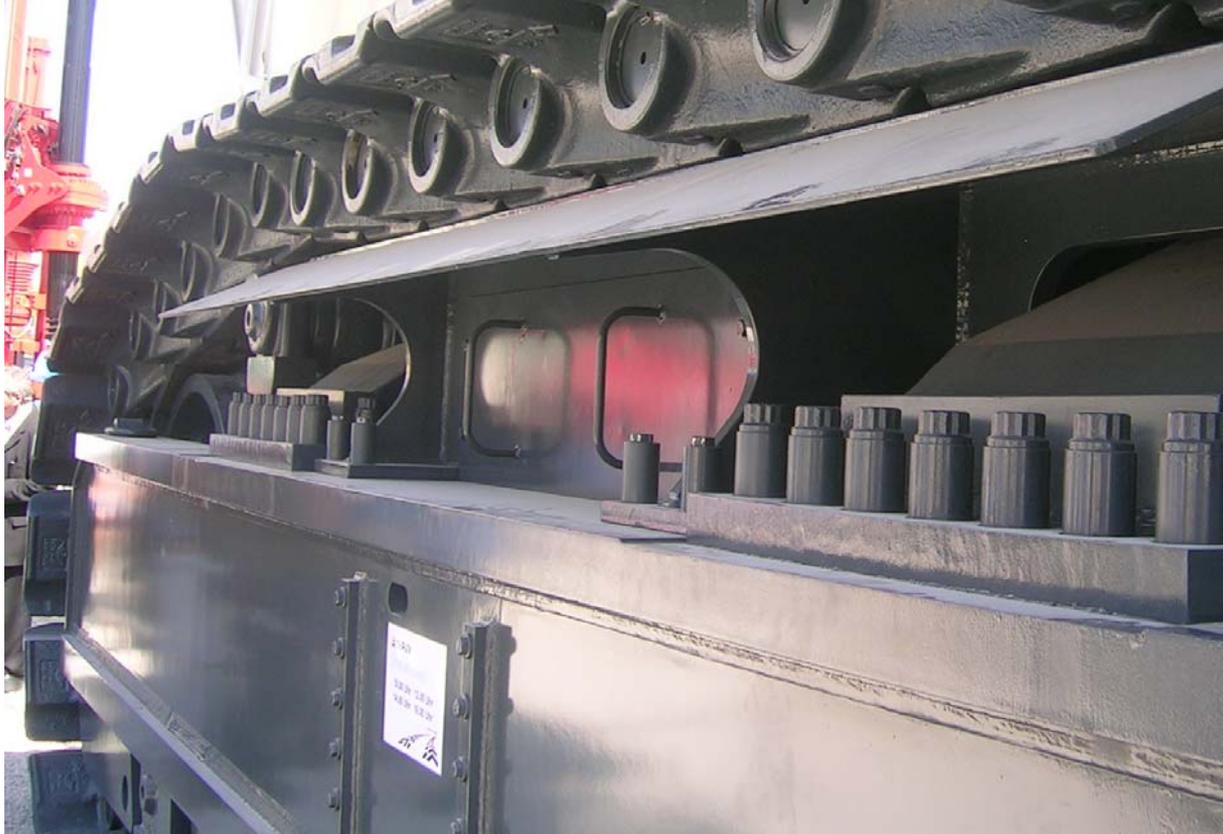
O&K大型ショベル昇降部



老舗O&Kの超大型機もTEREX傘下となっている



O&K大型ショベルの足回りの工夫(リタイサポートとクローラフレーム回りの土砂堆積対策)



O&K大型ショベルの作業機補修用のメンテナンスホール



③—5 TEREX



LIEBHERR

海外メーカー機、応用系の珍しい機種・機器



LIEBHERR(リープヘル)社は地元での開催とあって、非常に力が入った展示を実施。

屋外展示場にブースというよりパビリオンといった規模の専用建物を設置し来場者を迎える。同社は建機・クレーンのみならず、航空機関連や鉄道車両などの製造も手がけている



LIEBHERR超大型ダンプトラックTI 274(最大積載容量290トン)は、バウマで展示されているダンプトラックの中では最大。



LIEBHERR超大型ダンプトラックの横には、これまた超大型油圧ショベルR9250(運転質量250トン、バケット容量15立方メートル)。稼働現場に応じて油圧駆動と電力駆動の使い分けが可能。

Liebherr 9250 (安全対策)



Liebherr 9250 (昇降ラダー)



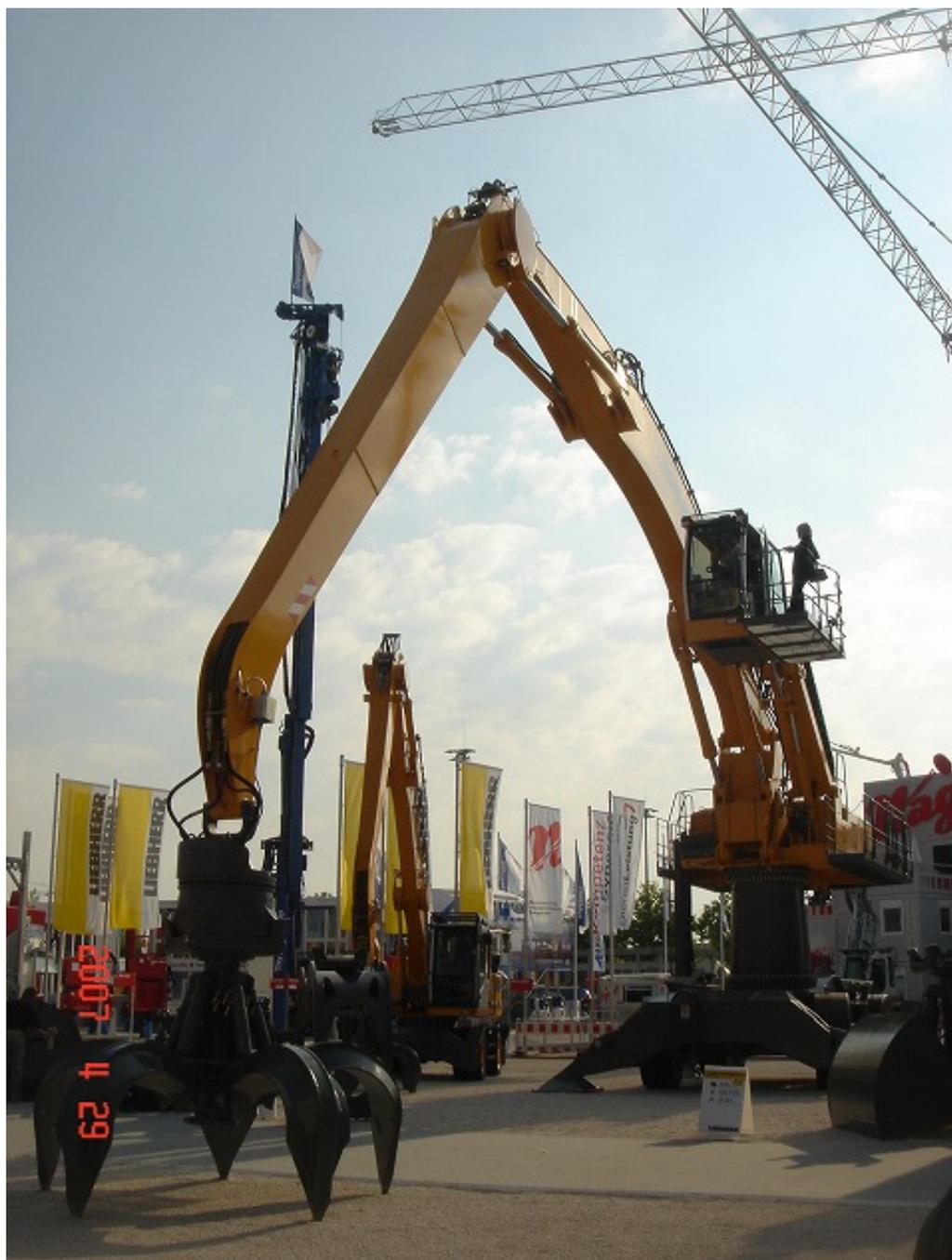
Liebherr 9250 (作業機サービスホール)



②—6 LIEBHERR



③—3 LIEBHERR
スクラップローダー

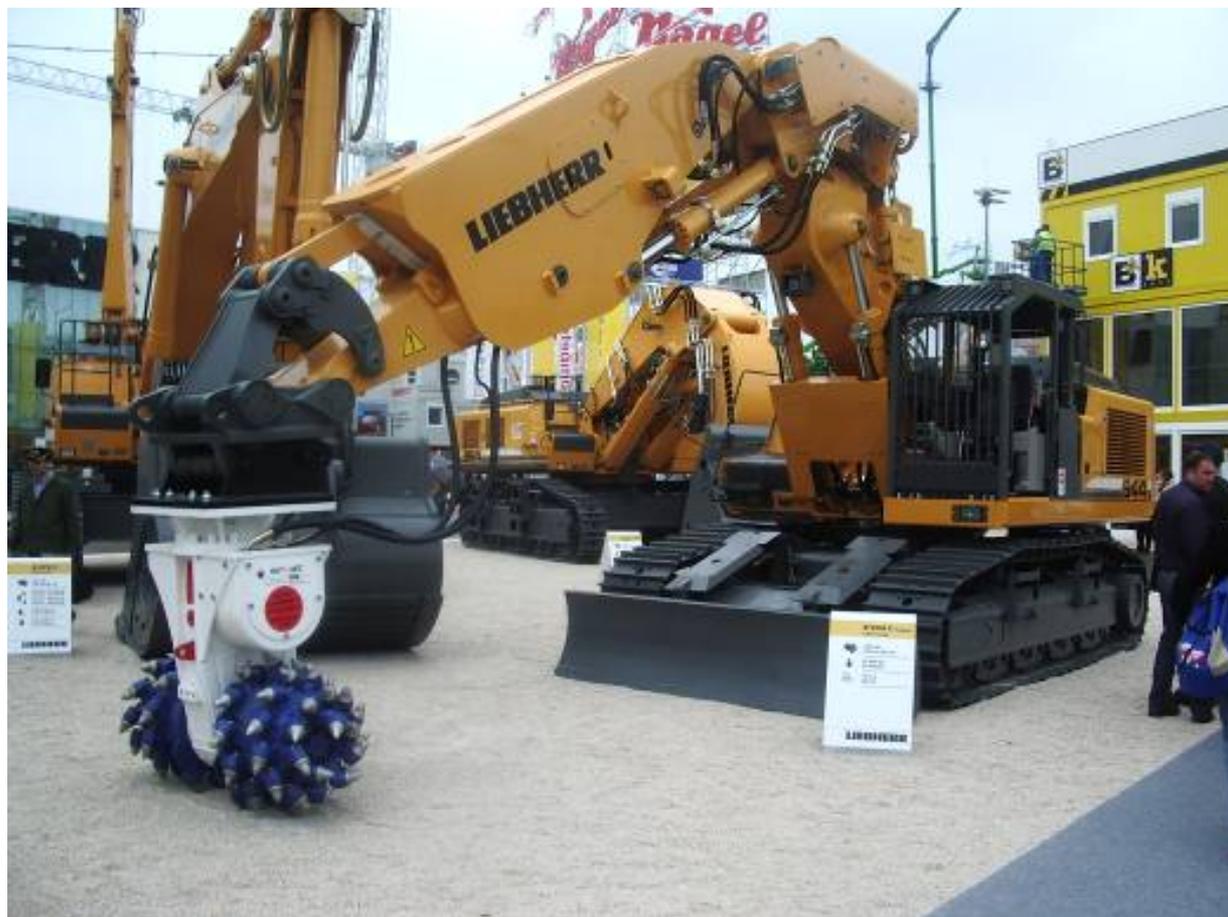


リープヘルR9250

毎回、重ダンプとコンビで展示されているシンボリックな機械。日に数回エンジンを掛け、ブームを上げ下げするだけで人だかりができる。



リープヘルR944トンネル仕様機
ツインヘッド付きのトンネル掘削に特化した仕様機。
アーム、シリンダ、配管のプロテクタが際立っている。
開放タイプのキャブは角柱製の見た目にも強靱そうな専用品
である。



Volvo



VOLVO(ボルボ)社はキャタピラーと同様に、屋内・外両方に展示エリアを設け、新製品を含む多数の種類の商品を一挙に展示。屋外では大規模なデモンストレーション会場を設置し、ミニから中大型までの各種建機が登場するデモを実施するなど、建機メーカーとしては、一番オーソドックスな展示内容だった。

②—1 VOLVO



VOLVOデザインコンセプトモデル 'Gryphin'

(ハイブリッドモデルでエネルギー再生、高速走行する未来
デザインコンセプトモデル)

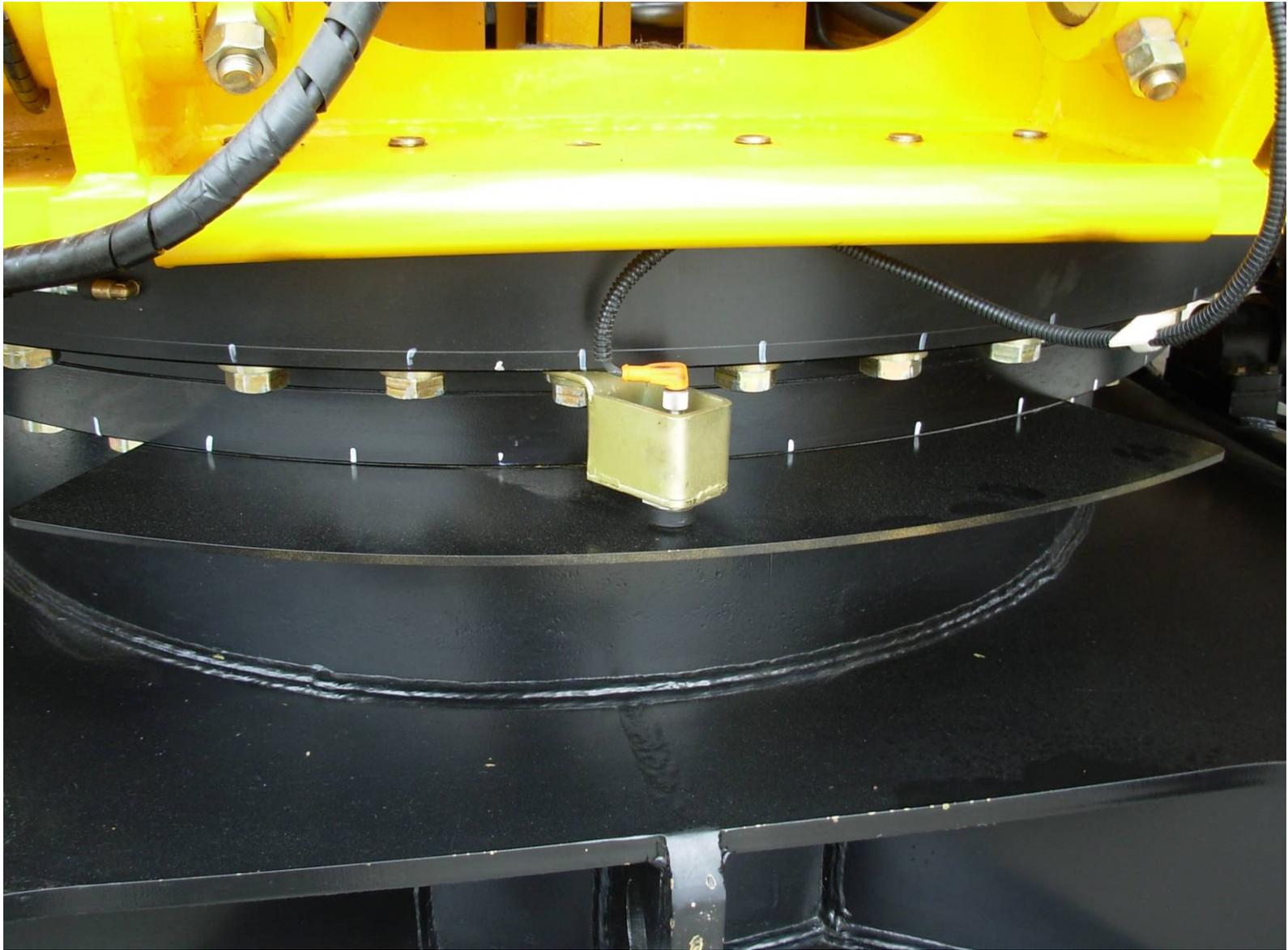


JCB

②—4 JCB(英国)



JCB長ロング安全装置



旋回角検知による安全装置. 他VOLVO, CASEも採用.

JCB8035



樹脂作動油タンク



JCB(イギリス) これもボンネットが大きく開くことをアピール。JCBは丸いデザインが多く、右前方視界を損なわないように配慮している。

JCB JS220(左)、TEREX TC140(右)

各社ともガラス面積の大きいキャビンが主流となってきている。



Neuson Kramer



地元ドイツのNeuson Kramer社。農業用機械がベースで、ミニ建機を中心に展示。

NEUSON ミニメンテ



メンテ性向上に力を入れている。

NEUSON

メンテナンス性向上のため、可倒式キャビンが採用されている。





2007 11 27

これも新製品ではないが、キャビンが大きくチルトする。



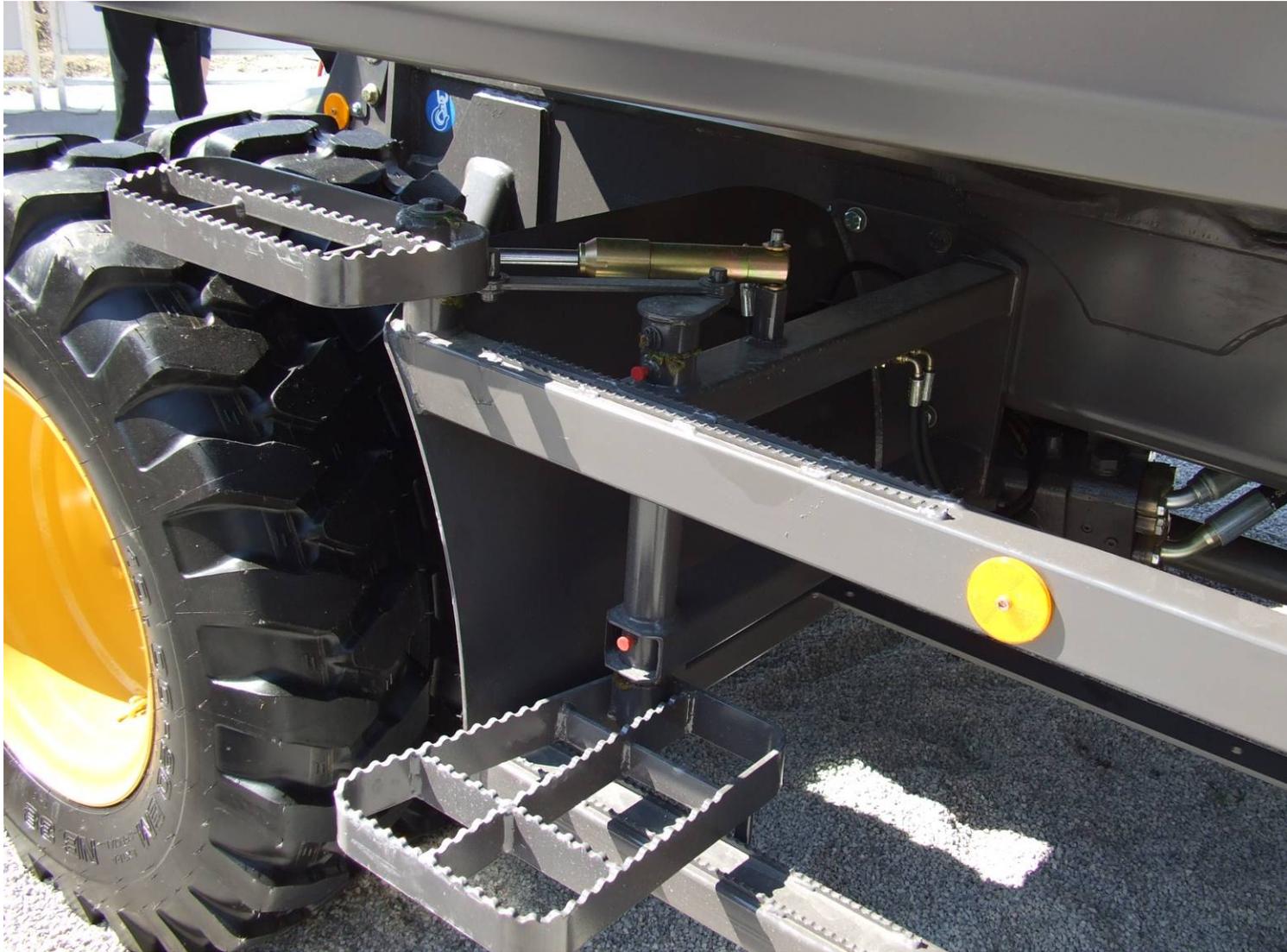
**NEUSON(オーストリア) ミニバックホー、ホイールローダ、スキッドステア
等幅広く展示 新製品ではないが、上回りがチルトする機構を採用**



NEUSONの6t機。各社ボンネットが大きく開いて、メンテナンス性の良さをアピールしている展示が多い。

MeCALAC

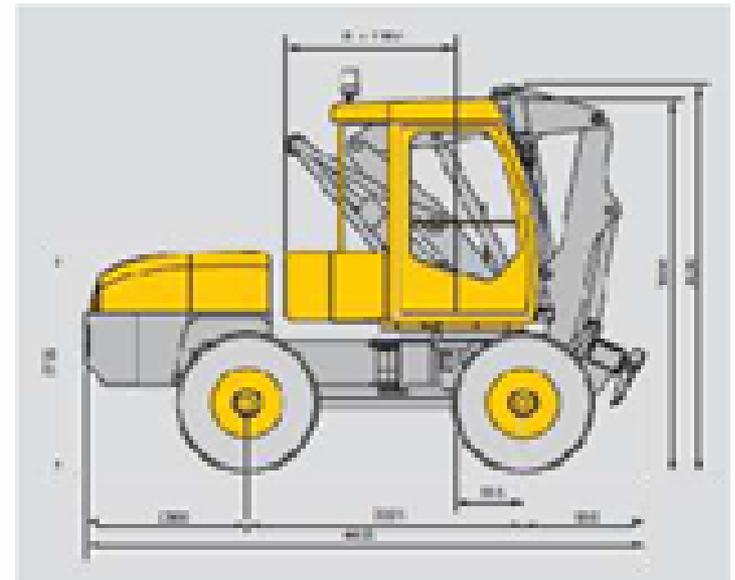
MeCALACホイールショベル



ドアを開けるとステップが出てくる構造になっている.

What's Mecalac ?

Mecalac



シャーシはアーティキュレートタイプで、エンジンはシャーシ側。
旋回体は、超小旋回(車幅からはみでてゐる)、特種的な3ピースフロント+フレンチオフセット(スイングブームでは無い)、強いて言えば、ホイールローダーにショベルの旋回体をのつけた機械。
彼らは、この機械を、Wheel Excavatorでは無く、Multifunction Wheeled Machineと呼んでいる。
ちなみに、写真の12MSXは9tクラス。

MeCALAC足回り



ミニショベルにブルドーザの様なロワローラ.

KAISER

KAISER



4つ足のハンドリングマシン

③—4 KAISER



Menzi Muck

Menzi Muck



WALKING EXCAVATORと称して販売している。

③—2 menzi muck





ヨーロッパ人好みの多関節機械

その他

AHLMANN ホイールローダ (樹脂外装でかわいらしい面白いデザインである)



一体の樹脂ホイールカバーとライトステー



南アフリカに本社があるBELL Equipment社は、同社の主力製品であるアーティキュレートダンプに、三角形のクローラを装着した製品を展示。



**BOBCAT(米国)の後方超小旋回機 これもメンテナ
ンスの良さをアピールしている。**

③-1 CSM(チェコ)



中国勢



今回は中国メーカーの出展が目立ち、公式情報では中国企業の総出展面積は前回比7倍に達するとのこと。品質面ではまだ差があるように思われるが、成長振りは著しい。

YUCHAI(玉柴)は中国生産台数1位のメーカー



YUCAI 1.5tから13tまで揃えて展示。一般的な機能は搭載されている。

SUNWARD(山河) 中国第2位のメーカー。1.7tから8.3tまでのバックホー、スキッドステア等を展示。



2ピースブーム、アームの回転を大きく取っている。



山河智能

2007 4 27

伸ばした状態



2007 4 27

②—3 SANY(中国)





中国メーカーのドリル機械、米国メーカー名付き純正
キャブをそのまま搭載、展示。

中国 SANY

多種のモデルを出展していた。

全体のまとまりはあるものの、外観の品質はまだ低い。



②—8 LIUGONG(中国)



Liugong
CL6200LC
Rated Power: 100kW
Operating Weight: 21700kg
Bucket Capacity: 1.18m³



韓国勢



韓国メーカーも多数展示されている。
HYUNDAI ミニ関係では1.5tから7.8tまで5機種を展示

②—2 HYUNDAI



韓国 DOOSAN

機種の種類も多く、スタイルも独自なものを打ち出している。
外観の品質も、ひと昔前に比べて格段に高くなっている。
ただし、どこか「和風」なイメージがある。



②-5 Doosan リトラクター



特殊もの

LINDEのフォークリフト(デザインに特徴有り)



ATLAS(WEYHAUSEN)&DEUTZ HYBRIDの内部 (ホイールローダベースだが、エンジン&電気モータ、冷却系を美しく配置)



Liebherr ホイール式ショベルの軌道走行車



MACALAC 軌道車



線路にタイヤを直接載せず
ドラムを介して駆動する

DOOSAN 軌道車



LIEBHERR 軌道車



車体を線路に載せ、駆動はタイヤによる
直動式

TEREX 軌道車





おわり